



株式会社 協和住建

SDGs宣言

当社は、SDGsの達成に向けて、後述の取組を含む社内外に好循環を生み出す取組を推進し、PDCA（計画-実行-評価-改善）サイクルに沿った継続的な取組およびその改善を、ここに宣言します。

2023年 3月 1日
株式会社協和住建 代表取締役 佐藤 広務

人権・労働

<具体的な取組内容>

- 何でも相談出来る風通しの良い風土を継続させ、労働環境の更なる改善を図っていく
- 既に導入済の育児介護休暇制度をさらに広め、休暇を取得しやすい環境を維持し、子育て支援・介護支援の充実化を図る
- 定年制を設けない体制を継続し、エイジレス社会構築に貢献する
- 工事業については、これまで通り社長自ら現場にて労働・現場状況を確認し、事故を防止・削減する取組を継続する

<関連のあるゴール>



製品・サービス

<具体的な取組内容>

- 売買・賃貸・リフォームの契約者からの修理・処置の依頼については、これまで通り素早く対応することで、地域住民の安全な生活維持に寄与していく
- ゴミの分別を行い、再利用できるものは業者にて再使用させることで、他社を巻き込んだ社会問題の解決にもつなげ、本取組が収益事業となるよう取り組んでいく
- 瑕疵保証制度を付帯した中古住宅の販売を行うことで、お客様が安心して物件を購入できる仕組みを継続させる

<関連のあるゴール>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境

<具体的な取組内容>

- 中古住宅を買取り必要な箇所にリフォームを施して再販することで、空き家の発生抑制等、地域の資源を有効活用しつつ持続可能なまちづくりに貢献する
- 所有共同住宅（マンション・アパート）の照明を、これまで通り全てLEDに切り替えることで、省エネ、CO2削減を更に推進していく
- 既に設置済の太陽光パネルによる売電事業を継続させ、地域のCO2削減に寄与していく
- 新築する所有共同住宅に、電気自動車充電設備や太陽光パネル（居住者消費型）を設置することで電気自動車の普及推進等、環境に配慮した取組を強化する

<関連のあるゴール>



内部管理・組織体制

<具体的な取組内容>

- 顧客情報の流出や災害時の顧客対応などを今後強化していき、品質向上を図る
- 環境だけでなく、CSRなどの観点も、原料・部品の調達先選定の一つにすることで、サプライチェーン全体での社会的責任も果たしていく

<関連のあるゴール>



SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。